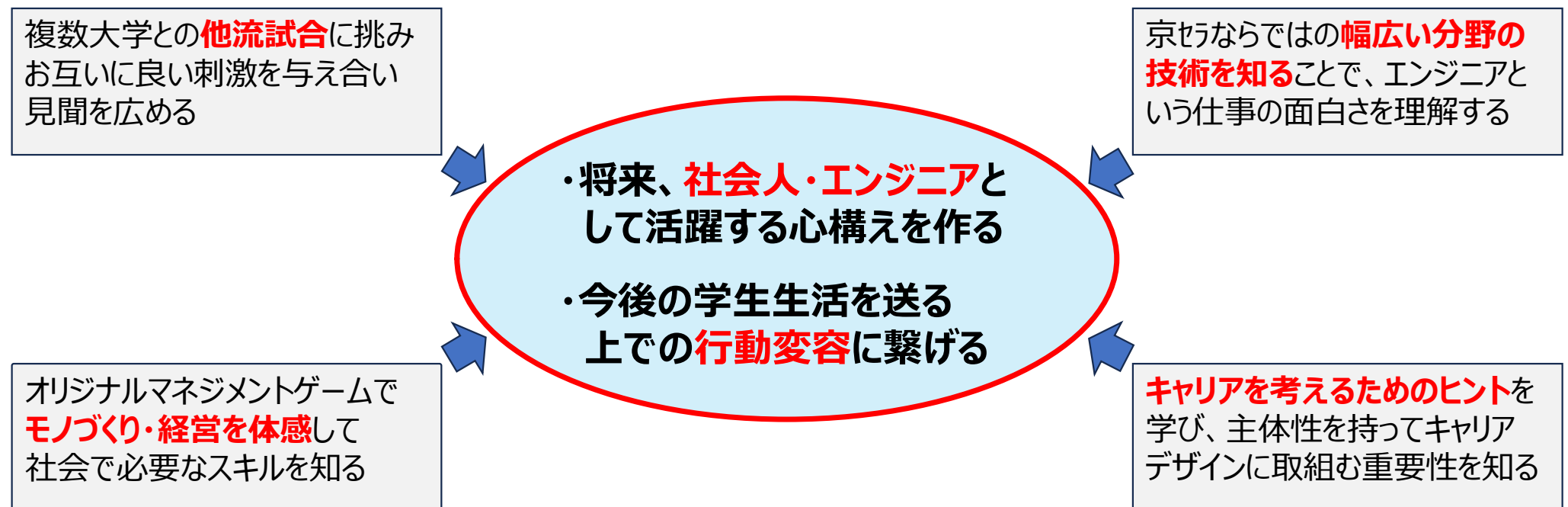


プログラム概要

プログラムの狙い

複数大学との他流試合に挑戦し、お互いに良い刺激を与え合い見聞を広めると共に、**6つのプログラム**を通じて、京セラの幅広い技術分野・社会で必要なマネジメントスキル・主体性を持ちキャリアデザインに取り組む重要性などを知る
これにより、将来、社会人・エンジニアとして活躍する心構えを作り、今後の学生生活を送る上での行動変容に繋げる



プログラム概要

概略スケジュール

	AM (9:30～12:30)	PM (13:30～17:30)	狙い
8月25日(月)	・ガイダンス ・自己紹介 ・アイスブレイク ・会社紹介 事業概要	① ペーパータワー (アメーバ経営ワーク)	・プログラムの流れを知る ・京セラ、アメーバ経営を知る ・採算意識、チームビルディング、プレゼンテーションを学ぶ
8月26日(火) at MMRC	・MMRCの概要説明 ・京セラの技術概要説明 ② ラボラトリー見学	③ トップエンジニアの講演 & 質疑応答 ・「事業創造のマインド」講義 ・個人ワーク・グループディスカッション・発表 ・総合マネジメントゲーム「セラブル」ガイダンス	・MMRCの概要と京セラの技術概要を知る ・京セラの技術開発の現在と未来を体感する ・エンジニア講義から技術開発の面白さ・厳しさを知る ・アントレプレナー起業家精神のマインドを醸成する
8月27日(水)	④ 総合マネジメントゲーム「セラブル」 ※チーム議論	・総合マネジメントゲーム「セラブル」 ※チーム活動	・メーカーのマネジメントを体感する (モノづくり・営業活動・採算管理・広報活動等) ・社会で必要とされるマネジメントスキルを学ぶ (リーダーシップ・ロジカルシンキング・コミュニケーション能力等)
8月28日(木)	・総合マネジメントゲーム「セラブル」 ※チーム活動	・総合マネジメントゲーム「セラブル」 ※発表会 & 振り返り	同上
8月29日(金)	⑤ 若手エンジニアとの交流会	⑥ キャリアデザイン講座 「キャリアオーナーシップ」	・交流会で若者のリアルな仕事観・働き方などを知る ・自分がエンジニアという仕事に携わるイメージを持つ ・キャリアを考えるためのヒントを学ぶ ・キャリアに主体性を持って取り組む重要性を知る

主なコンテンツ概要

ペーパータワー

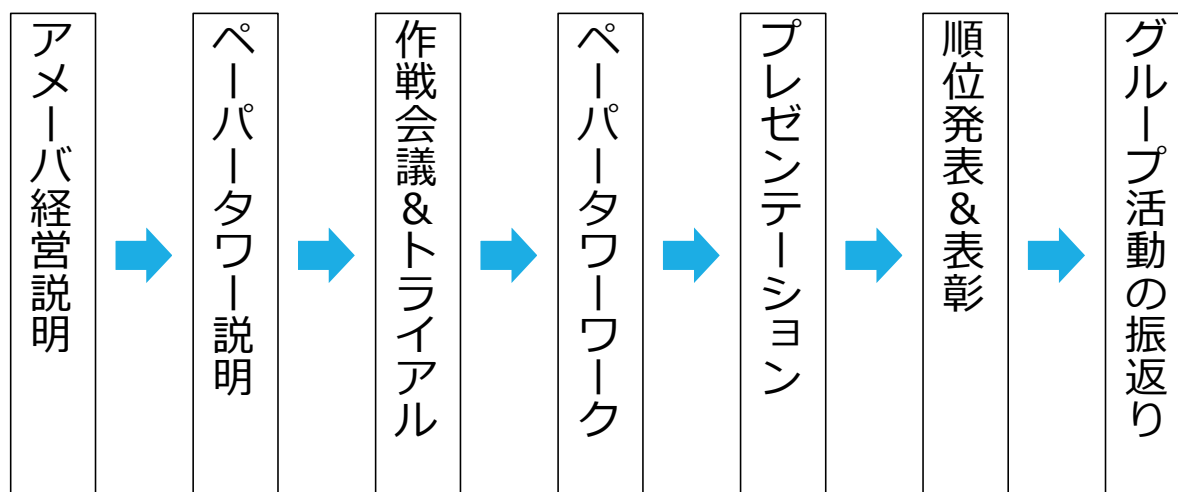
・採算を意識することの大切さを学ぶ

通常はタワーの高さを競うが、京セラ版は①タワーの高さに対し付加価値＝価格(利益)がつく、②使用する紙などはコストと見なす、③時間制約を設け、オーバーすると「残業」になる、などの設定で、常に採算を考えなければならない

・チームビルディング&プレゼンテーションを学ぶ

作戦会議で様々な方針を検討したり、チームで課題に取り組むことを通して、チームビルディングを学ぶ

製作したタワーの魅力をお客様に伝え売り込むという模擬体験によって、プレゼンテーションとは何かを学ぶ



主なコンテンツ概要

ラボラトリー見学 & TOPエンジニアの講演

・みなとみらいリサーチセンター(MMRC)訪問

MMRCにおいて京セラから、企業の「技術開発」に関する様々な情報を提供(下記ご参照)することにより、学生たちがその全体像を掴み、「技術開発」を自分事として捉える

・ゼロからモノを作ることの面白さ・厳しさを知る

ラボラトリーの見学で実際に開発された製品に触れたり、TOPエンジニアの開発ストーリーを聴くことで、ゼロからモノを作ることの面白さ・厳しさを知り、近い将来携わるエンジニアという仕事に、自分たちがどのように向き合い取り組んでくのか？
また、学生時代に何を学んでおくべきか？を考える機会とする

情報提供

①企業紹介・MMRC紹介

②ラボラトリー見学

③TOPエンジニアの講演

④「事業創造マインド」講義



学んで欲しいこと

①MMRCの概要と京セラの技術概要を知る

②京セラの研究開発の現在と未来を体感する

③エンジニアの軌跡から技術開発の面白さ・厳しさを知る

④アントレプレナー起業家精神のマインドを醸成する

主なコンテンツ概要

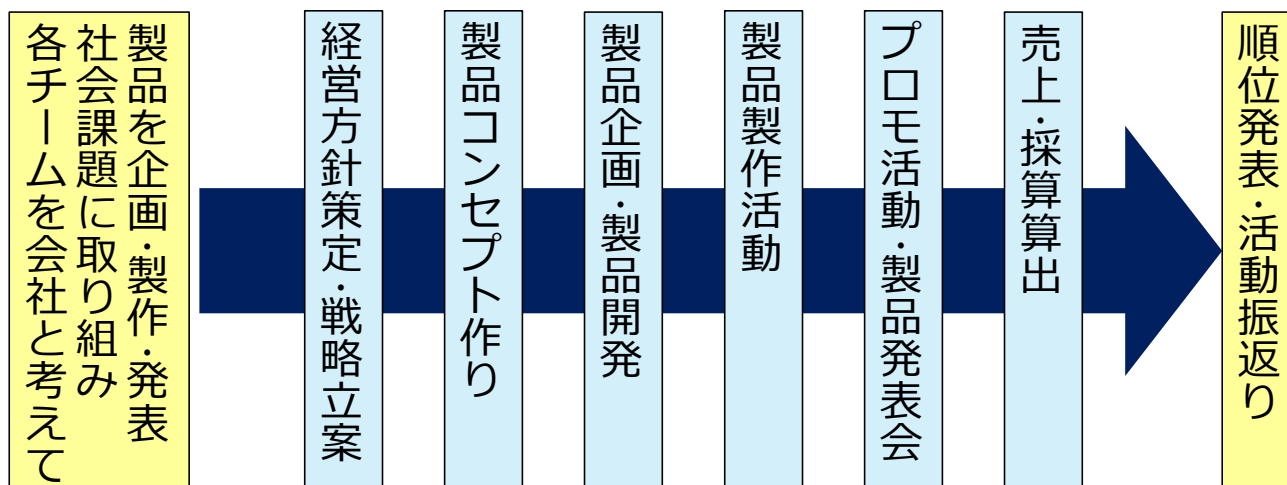
総合マネジメント演習「セラブル」

・メーカーのマネジメントを体感する

厳しいビジネスの環境や各活動の意義・機能を理解できる総合マネジメント演習「セラブル」で、実際にゼロからのモノづくりにチャレンジし、営業活動・採算管理・コンプライアンス・広報活動などを体感する

・社会で必要とされるマネジメントスキルを学ぶ

リーダーシップ・ロジカルシンキング・採算意識・マーケティング・チームビルディング・コミュニケーション能力などを学ぶ



主なコンテンツ概要

若手エンジニアとの交流会 & キャリアデザイン講座

・若手エンジニアと交流する

若手エンジニアと直接会話することで、若者のリアルな仕事観・働き方、実際の社会人のモチベーション、大学での学びを業務にどのように活かしているか等を知り、近い将来、自身がエンジニアという仕事に携わるイメージを作る

・キャリアを考えるためのヒントを学ぶ

自分のキャリアに対して主体性を持って取り組むことの重要性、様々なキャリア理論、自分自身の価値観、自己認識と他者認識のギャップ等を知り、再度自己分析することで、自分に適したキャリアを考え発表する

